



千歳支場をたづねる



No. 1

「往年千歳川流域に住いし舊土人アイヌはその生活に於て完全なる原始生活を営みしものゝ如くであります。語り傳うる處によると當時あたかも千歳川に氾濫せん許りにさかのぼり居りし鮭鱒魚を氣のむまゝに捕獲し、隨次食用となし、又は貯え用としてはこれを背開きとなし、立木を組合せしハサのようなものを作り

これを住居の周圍につばいに掛けて干したものだそうです。土人はこれを「カラヨ」と名付けて居ります。乾上りますと、木白若しくは棒切れ等にてたゞきほぐしこれにツポロ（筋子）を混ぜ、山に豊富にあるウンバイロ（ウバ百合、澱粉質の百合根）を加え、雑水となして主食としたそうであります。これは千歳孵化場五十周年に語っている渡邊郁郎氏の想出の書き出しの一節である。氏はここで千歳と鮭の關係についてぼつり／＼と書下しているが殊に氏は地名との關聯を述べてをり、ジョン・バチエラー氏のアイヌ語辭典から「オサクマイ」を引き、魚乾棚のある處、往時漁夫の小屋澤山ありて鮭を乾したりと土人云う。鳥棚舞村、現在の千歳孵化場、とのべているのは今更ながら興味深い。既に今から半世紀以上、六三年前、云いかえれば十九世紀の後半という昔に濫觴をもつて千歳とアイヌとの關係の深かつたらうことは想像に難くない。さわあれ今も尙を千歳川沿いの道に點綴するアイヌの住居はそのまゝに昔の名残を止めて想出を孵化場に殘している。

千歳町から二里、昨年から通つた支笏湖行きのバスは千歳支場の一軒手前で左に千歳川を渡る。右に行く川沿いの道は専用道路でこれも専用の電話線と共に灌

木林の中に入る。ここからは三年前に黄金期を夢見た苗別を経て程なく支場に達する。「米國メイン州バツクホルト人工孵化場に範を採り、千歳鮭鱒人工孵化場と稱し、國費を以て創設せられた」歴史的な千歳支場は、光榮と歴史に輝くと云つた表現よりも寧ろ和やかな親しみを以て營みを續けているといつた方がびつたりする。

敷地總坪數九万九千余坪といふこの擴大な面積の中には明治二一年に建てられた第一孵化室から、昭和一三年に建てられた第五孵化室迄半世紀に亘る歴史がそのまゝにどの孵化室もが年間一千万づつの卵を收容しては放流をつゞけて來た。清烈な水に恵まれた千歳川は逐年減少を續けているとは云え、年に數千万の稚魚を降下させている。

敷地は川の兩岸にまたがつてのびているが、その中央左岸よりに、千歳川にかゝる「ふかぜうばし」のたもと、昭和四年建築という廳舎がある。總二階建、コンクリート、亜鉛引鐵板葺といふこの建物は當時この山間に人心をひいたであらうと思はれる。この廳舎を中心に門に寄つて第三、右手に道を距てて第二、第一裏手約二百米程後に第四、それから三百米程後方に第五とそれ／＼孵化室が立ち並び、この間に試験池、倉

庫、飼料室、官舎等が點在している。有名な虹鱒は第一から第五孵化室迄九面の親魚池に飼はれ、稚魚は五面の稚魚池に育てられる。ここに居る親魚は約二千五百という。「ふかぜうばし」を渡ると鮭鱒の稚魚池があるが、これは昭和三、四年鐵筋コンクリートとして九面に達し、優に五千万を收容する堂々たる施設をほこつている。こうした施設の中に淋しく印象に残るものは現在に於ては明治の後葉に建てられた官舎丈となるであらう。廳舎から十數歩、川岸に下りると浴場がある。木の香の匂うこの浴槽は鮭の豊庫、千歳川につきでてをり、避間によく寒冷な孵化事業に専念している十一名の場員には唯一の夢を樂しませる所となつている。ここに杖をひく人は一日幾人かの平均率を示すであらうが、この風呂と三平汁に千歳を想起する人はさぞ多いことであらう。

この支場では數生、勇拂、染退、三石、元浦河、幌別、支笏湖と七事業場を統轄してをり、一昨年本場の調査課から轉動した佐野支場長以下、庶務には三浦技師、友田技術補、岸田、梅原公務補の諸氏が、事業には大久保、佐々木、千葉、長沼技官、寺井、岡本技術補の諸氏が明朗な活躍を續けている。唯一の慰安は麻雀に移つたが、曾つては花札が盛だつた様で、往時の斗士も

移り變る時と共に他の支場に散り、又は亡き人の列に加はり、蛇をよく食べたという生活も今は昔となつた。

この僻地にももう近く春がやつて来る。苦しかつた孵化室勤務も育ち行く稚魚と共に明けて行くことであらう。五月の下旬には稚魚池畔一面に植えられた櫻が咲き初める。かくて孵化事業第一頁を飾つた千歳が將來への輝ける歴史をこの瞬間が次の瞬間へとたゆみなく續けて行くことであらう。

最後に私達は佐野支場長の言葉に耳をかたむけよう

(文責 秋庭)

千歳支場最近の方向

千歳支場長 佐野 誠 三

鮭鱒の増殖に關心を持つと持たざるとに拘らず北海道の千歳孵化場の名は廣く全國に知れ渡つて居ります。此孵化場の水族増殖に對する功績は多くの先人の努力の結晶であつて其名聲の根源も勿論此處にあるのであります。

其後國の赴くまゝに全てのものを犠牲にする幾年かのグラント時代は此事業も免れる事が出來ず、施設の

荒廢、豫算の削減又事業の眞の目的を逸れる様な方向をさまよつて來た爲に稍々もすれば事業其ものが疑いの目を以つて見られ輿論も極めて不利となるに至つて居ります。此の事業の眞の意義を徹底せしめる爲には其効果を一般に認識せしめる事が必要であつて、進めつゝある仕事の正確な資料の總合によつてのみ之が可能なのであります。

最近の千歳支場は之等グラント時代の荒廢施設の復與と全ての面に新しい研究結果を探り入れて行く事を念頭に置き、多くの批判を反撥して何人も納得の出來る實績を擧げる事を念願して居ります。

捕獲採卵にある種苗の生産の重要な事は謂迄も無い事ではありますが、之れに増して重要な事は生産した稚魚の育成保護であります。大量の稚魚の生産と保護育成とが相待つて始めて其効果を期待する事が出来るのであり、最近の様に構地擴張に灌漑溝の増設、沿岸各種工業による水質の汚濁、沿岸に出た稚幼魚の混獲亂獲等我々の仕事の成果を防げる條件が増大しつゝある今日其對策無くしては本事業の意義も大半を失はれて仕舞うのであります。

此等の問題については常場としてもあらゆる角度より検討を加へつゝありますが最も積極的な方法として

湧水飼育池による早期浮游と稚魚の安全水域への大量輸送及沿岸に出た稚幼魚の混獲の徹底的取締りを計畫し、既に湧水池の一部は完成し稚魚輸送器も設計を終り製作に着手致しました。沿岸混獲の取締りには現地協力會の協力を得ると共に場員を期間中沿岸各地に派遣して徹底的な保護に當らしめ、行政的な措置と共に此事業の眞の目的を認識せしめる様計畫を進めて居ります。

之等の措置が實際の結果となつて現われるのは四年乃至五年の後になりましょう。又之等の實行のみによつて直ちに其効果を期待する事に無理もありまじやう併し他の多くの事柄と共に之等の措置を實行して行く事は必要な事でありませう。

勿論此の他に更に多くの問題があり、此等の諸問題と共に此の支場として特に稚魚の保護取締りを大きく取上げて將來の繁榮を期して居ります。我々の仕事の中容易に實施出来る多少共事業成績の向上に有効と思われる事柄はあらゆる面に於いて採用しつゝあります。種々の事情によつて容易に其の成果が現れない面もあり細部に於いては種々批判を受ける事もありまじやう併し其實績は多くの正確な記録と資料によつて次第に明らかとなつて参りまじやう。又此の事が支場員

一同の信念であり夫々の仕事に對する熱の根源となつて居るのであります。(一九五〇、一、七記)

人事異動

一入 廳

虹別支場

技術補

佐藤行孝 十二月十五日

北見支場

技術補

林 成治 十二月卅一日

天鹽支場

事務補

菅野達雄 技術補 西尾一昌 十二月卅一日

渡島支場

事務補

櫻田とき 一月十日

異動

本場

技官 秋庭鐵之 企畫課へ 事務補 照井ちか

虹別支場

事業課へ

十二月五日 休職 十一月十一日

退職

本場

事務補 柏紀恵子 十二月廿八日 技術補 阿部

久藏 十二月卅一日 (休職) 技官 後山一夫 十

一月卅日

渡島支場

事務補 石井 宣 一月十日